

はじめに

私はグローバル社会で走りまわるための道具として必要な英語を大学生の間に身につけたいと思いました。しかし、英語は私にとって昔から最も嫌いな科目の1つでした。もし、私が今から本気で英語を習得したいのなら、英語しかない環境に自分を追い詰めなければいけないと思いました。そうでなければ、自分はこの先ずっと英語の勉強なんてしないと確信していました。これより、私は自分自身の可能性をもっと広げたいと思い、一年の大半、約9ヶ月をアメリカのロチェスター工科大学(RIT)に留学して過ごすことに決めました。

そして現在、6月上旬に渡米してから4カ月が過ぎました。アメリカに来た当初は驚きと戸惑いの連続でした。飛行機に1人で乗るところからアメリカで生活するところまで、何もかもが初めての経験でした。しかも、当初は英語を聞いて理解することも話すことも出来なかったため、何をすることも不安でした。最近では、ようやく当初よりも語力、精神面共に成長したおかげで、必要最低限の生活は苦も無く送れるようになりました。

それでは以下に私が9月中にアメリカで体験したこと、注力したことを中心に報告を行っていきたいと思います。

English Language Center (ELC)

English Language Center(ELC)は主に外国人学生が英語を勉強する語学学校です。建物はRITキャンパスの中にあります。ELCを卒業すると正規のRITの学生として、RITに入学することが出来ます。このことから、「英語だけを勉強しに来ている人」と「ELCの卒業を目指す人」など、大きく2つに分けることができます。ここでは入学時にテストを行います。そして、そのスコアに応じて学生を下から順にBeginning, Intermediate, Advancedの3つのレベルにクラス分けをします。また、そのレベルの中でも更に3段階にレベルにクラス分けをします(例:下から順に、Advanced 1, Advanced 2, Advanced 3)。人数やレベルの関係でBeginningのクラスは存在しないこともあります。かくゆう私もこの語学学校に通って日々英語の勉強をしています。ここでは様々な国の人が在籍しており、色々な場面で文化や意識の違いを実感することが多々あります。



図1 ELC ラウンジ



図2 教室

今学期は Intermediate 1 のクラスで授業を受けています。以下の表 1 に今学期の授業表を示します。基本的にどの授業でも先生の話す内容がきちんと理解できていないので、とても苦勞しています。また、英文を読むスピードも周りと比べて遅いので授業についていくのも少し難しいです。しかし、アメリカにきた当初に比べればこれらのことは進歩はしていると感じます。中でも文法の授業は比較的理解し易く、内容も大体は理解することが出来ています。まずは授業でどんな話をしているか理解すること、そして、英文を読むスピードが速くなるようになりたいと思います。

表 1 授業表

	MON	TUE	WED	THU	FRI	
09:00 - 10:00		WRITING		WRITING	ACAD COM	
10:00 - 11:00						
11:00 - 12:00		LIST / DISC		LIST / DISC	LIST / DISC	WRITING
12:00 - 13:00						
13:00 - 14:00						
14:00 - 15:00	ACAD COM	ACAD COM		ACAD COM		
15:00 - 16:00	READING	READING	READING	READING		
16:00 - 17:00	GRAMMAR	GRAMMAR	GRAMMAR	GRAMMAR		

私生活

私は RIT キャンパス内に設置されている学生寮に住んでおり、楽しく毎日を過ごしています。この寮には主に正規の RIT 学生が住んでいます。基本的には 2 人部屋ですが、その他にも 1 人部屋や 4 人部屋があります。また、学内の寮に住んでいるのは主に 1 年生から 2 年生です。今はまだ相手のしゃべっている内容を完全に理解することも、正しい英語で話すことも出来ません。しかし、そんなことはあまり関係が無く、ルームメイトやフロアメイトなど仲の良い関係を作ることが出来ています。



図 1 寮の部屋



図 2 同寮の友人

フォーミュラ SAE チームの活動へ参加

今月から、私は RIT で学生フォーミュラ活動に参加し始めましたが、この活動は驚くことの連続です。学生フォーミュラでは学生が自分たちで考え、車両の設計、製作しなければいけません。そして、自分たちの車両を使用して大会に臨みます。私自身も日本で学生フォーミュラ活動をしており、本来所属しているチームのレベルを底上げしたいと思いました。そのために、他のフォーミュラの活動を参考にしたいと考えていました。その点、RIT チームは大会で常に上位にランクインしている強豪チームで、製作した車両のレベルも非常に高いです。最初は車両レベルの高さにも驚きましたが、それ以上にモノ作りの環境が非常に整っていること、チームの士気が高いことに驚かされました。現在、私は製作チームの 1 つであるコンポジットグループに所属して、カーボンパーツ製作を中心に手伝いをしています。日本に帰国するまでの間に RIT チームでの全体の活動に参加し、大会で上位を獲得することができる車両やチームを作りについて比較検討していきたいと思います。



図 3 活動の様子

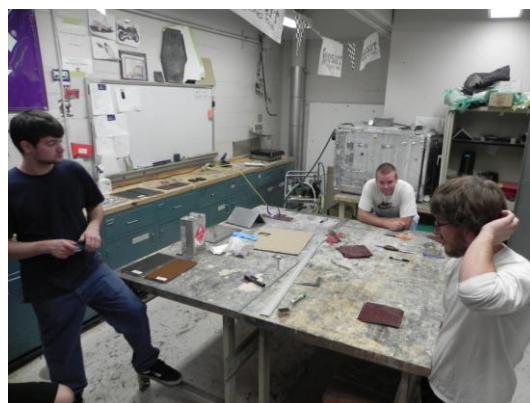


図 4 パーツ製作室(コンポジットグループ)

英文法

最近、改めて英語で文章を考えることや、文章意味を完全に理解するためには文法を理解することが必要だと感じてきました。このことから、授業とは別に自分に合ったレベルの英文法を基礎からもう一度やり直すことを決めました。現在は日本から持参してきた英文法の参考書を使って独自に勉強を進めています。以前は文法の勉強は全く面白いと感じていませんでした。しかし、今は英語そのものに慣れてきたこともあり、今までよりも文法が理解しやすくなりました。そして、覚えたことはすぐに会話や文章を読む際に使えるので、今ではゲームの攻略本を見るような感覚で文法の勉強が出来るようになりました。品詞、文型、副詞、前置詞など基本的なことをしっかり理解するだけでも、今までよく分からなかった文章や会話などの理解が深まったと感じます。まだ、勉強し始めたばかりですが、今後も更に英語の理解を深めるために、もっと文法の勉強を進めていきたいと思っています。

プレゼンテーション技術の向上

将来のために、情報を分かりやすく印象に残るように他の人に伝える技術を身につけたいと思っていました。他人に情報を伝える手段として、使う機会が多いプレゼンテーションのレベルを高めたいと考えていました。そのため、世界的に有名だったプレゼンターの故スティーブ・ジョブズに着目しました。初めて彼のプレゼンテーションを見た時は、とても分かりやすく、聞いている自分の心が震えたことに感銘を受けました。そのため、彼のプレゼンテーション手法を自分のプレゼンテーションに取り入れようと考えました。彼の手法を学ぶうちに、どのように考えプレゼンを進めていけばいいか、今までの考えがどんどん一新されていきます。学んだ技術は授業でプレゼンテーションが行われる度に使用しています。例えば、スライドを出来る限りシンプルに作り替えるなどするだけでも、プレゼンテーションの印象が大きく変わります。そして、発表後には皆が今までとは違った反応をしてくれます。これは本当に面白くてやりがいがあります。今後も聞いている人の心を揺さぶるようなプレゼンテーションを目指して頑張りたいと思います。

さいごに

留学という機会を与えてくださった本学の多くの方々や、両親にこの場を借りて心からお礼を申し上げます。日本の外に出てから様々な出来事や人との出会いがありました。そしてその度に新たな経験をし、今までの価値観や考え方が変わっているように感じます。この経験は今後も自分を形成する重要な要素になると思います。もし留学プログラムに参加していなければ、一生こんな経験をする事はなかったと思います。このような貴重な経験をさせてくれる留学プログラムや本学の方々、そして両親には本当に感謝しています。一生の宝になるような貴重な機会を与えてくださり本当にありがとうございます。今後も更に貴重な経験が出来るよう様々なことを考え、色々なことに挑戦していきたいと思います。

報告は以上です。